

# とっとり農業会議情報

第54号  
発行:平成29年 3月31日  
編集:一般社団法人  
鳥取県農業会議

## 主 な 内 容

- ◇ 本会臨時総会開催(3月21日) . . . 2頁
- ◇ 中部農業委員会協議会総会・研修会(2月24日) . . . 2頁
- ◇ 農業委員会職員研修会(2月27日) . . . 2頁
- ◇ 県稲作経営者会議総会(3月9日) . . . 2頁
- ◇ 県農業法人協会総会(3月15日) . . . 2頁
- ◇ 西部地区農業委員会会長協議会総会・研修会(3月27日) . . . 2頁
- ◇ 平成28年度農業委員会特別研修大会開催(2月23日) . . . 3頁
- ◇ 第13回女性農業委員活動推進シンポジウム参加(3月9日) . . . 4頁

## 本会会長に上場重俊氏が就任

本年1月、本会の川上一郎会長が辞任表明され、理事の補充はせず、定款の規定に基づき、3月21日(火)開催の第5回理事会で新会長の互選が行われ、上場重俊理事(公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構理事長)が選任された。新会場の上場氏は担い手育成機構の理事長と兼務で、任期は、現役員が残任期間である平成30年6月開催の本会通常総会終結時までとなる。なお、川上会長は、4月1日付で顧問に就任する。

〈H29. 4. 1以降の役員体制〉

《敬称略》

会 長 (代表理事)	上 場 重 俊	(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構 理事長
副会長 (理事)	長谷川 誠 一	湯梨浜町農業委員会 会長
副会長 (理事)	恩 田 一 秀	南部町農業委員会 会長
理 事	小 林 功	智頭町農業委員会 会長
理 事	松 本 昭 夫	北栄町 町長
理 事	高 見 俊 雄	鳥取県農業協同組合中央会 会長
監 事	森 本 正 憲	鳥取市農業委員会 会長
監 事	高 西 史 郎	米子市農業委員会 会長
監 事	山 脇 優	倉吉市農業委員会 会長



4月1日に就任の上場新会長



3月31日に退任の川上会長

## 本会臨時総会開催（3月21日）～議案すべて承認～

本会臨時総会が3月21日、鳥取市・白兔会館で開催され、平成28年度一般会計の補正予算及び平成29年度事業計画及び歳入歳出予算などを附議、いずれも原案どおり可決承認された。

## 中部農業委員会協議会総会・研修会(2月24日)

2月24日、湯梨浜町役場で中部農業委員会協議会の総会が開催され、平成29年度会務運営計画と収支予算が承認された。平成29年度は、会長、事務局長の合同研修を北栄町で開催すること、さらに東京で開催される全国農業委員会会長大会、全国農業委員会会長代表者集会の参加を決めた。また、これまで単独で実施していた婚活事業が、県中部ふるさと広域連合で実施されることが報告された。

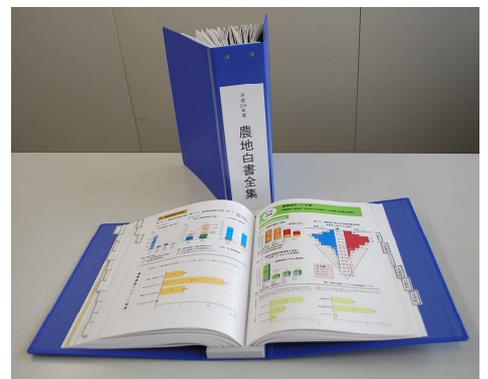
次いで湯梨浜町内3カ所の視察を行い、砂丘畑での芝栽培、高品質の米作り、梨団地の整備について説明を受けた。

## 農業委員会職員研修会(2月27日)

本会は、2月27日、倉吉市「県立農業大学校」で研修会を開催した。

この研修会では、平成25年に作成した「農地白書」を改訂し、農業委員、農地利用最適化推進委員に基礎資料として活用してもらうことを目的に開催したもの。農林業センサスが公表されたことに伴い、新たなデータで、前回との比較など農地や農家の動向をグラフで分かりやすく示すこととしている。研修会では、新たなデータをパソコンに入力してグラフ化し、各市町村版の白書の作成を行った。

白書は未公表データを整備し、できるだけ早い段階で公表することとしている。



## 鳥取県稲作経営者会議総会(3月9日)

鳥取県稲作経営者会議(高虫秀樹会長)は3月9日、湯梨浜町の水明荘で平成29年度定期総会を開催し、平成28年度事業報告及び収支決算、平成29年度事業計画及び収支予算などの議案を可決承認した。総会後の研修会では、鳥取県農業農村担い手育成機構の小林勝志常務から農地中間管理事業の実施状況についてなどの研修をした。

## 鳥取県農業法人協会総会(3月15日)

鳥取県農業法人協会(北村凱男会長)は3月15日、鳥取市の白兔会館で平成28年度通常総会を開催した。役員改選では会長に北村凱夫さん(岩美町、(有)いわみ農産)、副会長に米山幹雄さん(鳥取市、(有)アグリ・フロンティア)が再任された。平成29年度は、後継者の育成を図るため従業員同士が交流を深めるよう、従業員だけの研修会を開催することを決定した。

## 西部地区農業委員会会長協議会総会・研修会(3月27日)

3月27日、日野町役場において総会が開催され、平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画・収支予算をそれぞれ承認され、あわせて来年度の役員の選任が行われた。

当日は、「農業振興施策における農業委員会の役割」と題して、県日野振興センター農業振興室 河本昌樹室長から講演があり、次いで日野町歴史民俗資料館を視察した。

なお、次年度は会長に日吉津村農業委員会の立脇賢二会長、副会長には日南町の梅林操会長、監事2名は江府町の松原会長と米子市の高西会長が選任された。

## 平成28年度農業委員会特別研修大会開催(2月23日)

2月23日、琴浦町「カウベルホール」で農業委員会特別研修大会を開催し、県内の農業委員、農地利用最適化推進委員ら約320人が出席した。

農業委員会の活動拠点体制の整備、活動手法の確立、委員・職員の資質向上の3つの自己改革の推進を目的に開催したもの。研修では京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授の桂明宏氏が「新たな農業委員会制度と農地利用最適化の推進について」と題して講演。桂氏は、「最適化業務は受け身のあっせんから未来へ向けた計画的な農地の流動化への対応である。平場の場合は、集積から団地化へ、個別調整型から一括調整型へ、繰り返しの調整活動が重要で、成果を上げているのは地域で地道に行っているところだ。農業委員会は、人・農地プランに積極的に関与していくことが重要」とした。一方で、中山間地での取組みとして福知山市三岳地区での農地利用計画のためのマップづくりや集落営農法人(有)みたけ農産や里の駅みたけの事例を紹介した。



京都府立大学 桂准教授

「人農地プランの推進」について、

県経営支援課加藤課長から説明があり、「農地中間管理事業の取り組み状況と農地利用の最適化」について、公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構上場重俊理事長から説明があった。特に、上場理事長からは、「農地利用の最適化は、農業委員会だけではなく、関係者一体となって取り組むことが重要」と話があり、農業委員等、参加者は理解を深めた。



日南町 梅林会長



日野町 長住会長



県経営支援課 加藤課長

### 第13回女性農業委員会活動推進シンポジウムに参加（3月9日）

第13回女性農業委員会活動推進シンポジウムが、3月9日（木）、東京都・都市センターホテルで、「農業・農村の発展のために今、女性としてできること」をテーマに開催された。本県女性農業委員の会（35会員・濱崎智熙会長）からは、10名が参加した。



農林水産省経営局就農・女性課長の佐藤一絵氏が「農業委員と農地利用最適化推進委員の女性登用促進に向けて」と題して講演。データでみる農業における女性の活躍ぶりや、女性農業委員・農地利用最適化推進委員に求められる資質などについて説明があった。

次いで農業者年金基金中園理事長から、農業者年金のメリットと加入推進について話があった。最後に、「地域活性化について考える～女性が頑張る町おこし！～」を基本テーマにパネルディスカッションがあり、新潟県新潟市西蒲区女性農業委員会の阿部マサ子氏（西蒲区農業委員）と、ぎふ農業委員会女性ネットワーク副会長の中野多千子氏（飛騨市農業委員）と、宮崎県女性農業委員連絡協議会の松原和恵氏（都城市農業委員）からそれぞれの活動報告があった。コーディネーターを務めた東京農業大学の堀部篤准教授から、今後も女性登用が進むよう積極的な活動とそのPRに努めてほしいとエールが送られた。

### < 常設審議委員会だより >

#### 第11回常設審議委員会（平成29年2月21日開催）

- 議 事 ・農地法第4条意見聴取 一件 ー㎡
- ・農地法第5条意見聴取 6件 17,541㎡
- 協議報告 ○市町村農業委員会の新たな体制への取組状況について

#### 第12回常設審議委員会（平成29年3月21日開催）

- 議 事 ・農地法第4条意見聴取 1件 635㎡
- ・農地法第5条意見聴取 9件 15,066㎡
- 協議報告 ○鳥取県内の畜産クラスター事業の動きについて
- 不適切手続きに基づく勧告に係る遊休農地の取扱いについて

### 農業会議関係会議等予定〈平成29年4月～5月〉

4月 3日(月)～5日(水)市町村等、会長就任挨拶廻り	5月19日(金) H29第2回常設審議委員会<水明荘>
14日(金) 市町村農業委員会職員等新任者職員研修会	29日(月) 全国農業委員会会長大会<東京都>
21日(金) H29第1回常設審議委員会<水明荘>	31日(水) 決算監査

【編集後記】本年3月末をもって本会川上会長が退任されました。平成19年4月から10年に亘って農業委員会支援の陣頭指揮を執ってこられました。事務局にも様々な場面で指導いただき感謝の念で一杯です。今後も、本会顧問として大所高所からご指導していただくこととしております。

そして、今回、3月21日の理事会において、公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構の上場理事長が会長に選任されました。上場会長の下、市町村農業委員会への支援のため、より一層尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。(K)